



【活動目標】支援現場での三障害一元化を目指し、障害者の存在それ自体を我が事とする価値観をもって、諸事業に真摯に取り組みます

障サ協
広報紙

山口県障害福祉 サービス協議会通信

発行：山口県障害福祉サービス協議会 広報委員会 〒753-0072 山口市大手町9番6号
電話：083-924-2799 FAX：083-924-2798 メール：syougai@yg-you-i-net.or.jp

障サ協通信 座談会（令和4年2月24日リモートにて開催）

障害者虐待を生まないために 〈前編〉

「障害福祉サービス事業所・施設での取り組み」

障害福祉サービス事業所・施設における障害者虐待防止については、令和4年度より虐待防止委員会の設置や職員への研修が義務化されたことにより、他の事業所・施設での取り組み事例に対する関心が高くなっています。

そこで今回の座談会では、それぞれの事業所・施設での虐待防止委員会の設置や運営の方法や、職員への研修をどのように行っているのか。さらには障害者虐待防止のための取り組みや、もし、起こってしまったらどう対応するかなどについて考えていきたいと思います。

司会

障サ協広報委員長 山田正寛（特定非営利活動法人青空 あおぞら）

出席者

- 社会福祉法人恩賜財団済生会支部山口県済生会 副施設長 橘 康彦 氏
- 済生会山口地域ケアセンター なでしこ園 支援課長 八木理江 氏
- 社会福祉法人ひらぎの里 ひらぎの家 支援主任 貞森達雄 氏
- 社会福祉法人ひかり苑 ひかり苑 氏

司会：広報委員長の山田です。あおぞら（防府市）で、就労継続支援事業B型（以下就労B）、就労移行支援事業（以下就労移行）、就労定着支援事業（以下就労定着）と、併せて共同生活援助事業（グループホーム）とシヨーステイで管理者をしています。

待事案の聞き取り等をしてはいますが、虐待はかなりの表面化するようになってきた印象です。虐待が起きた原因もたくさん検証してきましたので、皆さんと共有できればと思っています。

年7月に大きくなってリニューアルオープン予定です。その時にはまた見に来ていただけたらと思います。

八木：多機能型事業所ひらぎの家（山口市）の支援課長をしています。法人には障害者支援施設、グループホーム、子ども通所サービス、相談支援事業所等があり、多機能型事業所ひらぎの家では、生活介護事業と就労Bをしており、さらにグループホームも作って、令和4

年7月に大きくなってリニューアルオープン予定です。その時にはまた見に来ていただけたらと思います。



ひかり苑 支援主任 貞森達雄氏

センター障害者支援施設なでしこ園（山口市）の副施設長で、生活支援員や入所の相談事業なども行っています。元々は社会福祉士で、高齢者福祉の分野で長く働いていましたが、6年前に今の部署に異動しました。

貞森：うちでも以前には虐待事案があつて、だからこそ、しっかり取り組む方針が作られた。その事案では、職員が忙しさからカッとなって利用者を叩いてしまった。この虐待事案の発生を受け、法人で「虐待防止委員会」を立ち上げ、現在もしっかりと取り組んでいます。具体的には、先ず虐待防止マネージャー委員会を設けました。虐待防止マネージャーは各部署から委員長を含め5名くらいを選出し、全体で15名程度の職員が代々交代で務めています。虐待防止マネージャー委員会を作っているところは少ないと